

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況(疑い事例、十勝総合振興局 帯広市)等について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 11月18日に帯広市内で死亡野鳥(マガモ)1羽が回収され、十勝総合振興局が簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されました。</p> <p>今後、環境省が国立環境研究所に依頼して、高病原性鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査を実施します。 (検査結果の判明まで1週間程度かかる見込み。)</p> <p>また、環境省は、回収地点の半径10kmの区域内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化することとしています。</p> <p>○ 11月13日に釧路市内で回収され、猛禽類医学研究所が実施した遺伝子検査で陽性反応が出た衰弱野鳥(キンクロハジロ)1羽について、国立環境研究所で11月18日に実施した検査で高病原性鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった(陰性)[※]旨、環境省より、連絡がありました。</p> <p>このため、環境省は、11月13日に指定した野鳥監視重点区域を、本日解除しました。</p> <p>※ 鳥インフルエンザウイルスは検出されたが、高病原性のウイルスではなかったもの。</p> <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) 十勝総合振興局は、野鳥監視重点区域において、野鳥の大量死等の有無について監視を強化します。</p> <p>(2) 回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>※別添資料 R4シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	<p>○ 帯広市の件について、現時点では、簡易検査においてA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、病原性は未確定です(高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません)。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	十勝総合振興局、釧路総合振興局	
担当(連絡先)	<p>・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:中田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</p>		

令和4（2022）年シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況

（令和4年10月～）

本件	○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	※	10/23	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	高病原性でない
	野鳥2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
	野鳥3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性
	野鳥4例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥5例目	11/10	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	※	11/13	釧路	釧路市	衰弱野鳥	キンクロハジロ	1		陽性	高病原性でない
	疑い	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	検査中	
	疑い	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	
●	疑い	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	今後、検査	

※ 遺伝子検査でA型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認されたが、その後、高病原性ではないことが判明